

事業コード	H16-建-継-13			区分	国庫補助・県単独
事業名	地方道路交付金事業			部局名	建設交通部
事業種別	道路改築事業(バイパス)			課室班名	道路建設課 地方道班 (tel) 2486
路線名等	(一)根瀬尾去沢線			担当課長名	佐藤 紀一
箇所名	鹿角市 長内			担当者名	主幹(兼)班長 小田 修
総合計画との関連	政策コード	U	政策名	交流・連携と生活を支える交通基盤の整備	
	施策コード	4	施策名	地域内交通ネットワーク・生活圏交通の整備	
	目標コード	2	施策目標名	県道改良率	

1. 事業の概要

事業期間	H14~ H18(5年)	総事業費	13億円	国庫補助率	5.5/10	
事業規模	延長L=860m 幅員W=11.0(2.5-1.25-6.0-1.25)					
事業の立案に至る背景	<p>一般県道根瀬尾去沢線は、秋田県鹿角市の長内、根瀬地区と鹿角市市街地を連絡する生活幹線道路であるが、国道282号と国道341号を補完し、米代川左岸側の南北を結び幹線道路としても機能している。また周辺には尾去沢マインランドや八幡平国立公園があるため、観光道路として機能するほか、国道341号の災害時の代替路線として位置づけられている。</p> <p>当該区間はクランク型の交差点や、狭隘で急勾配の箇所が存在するため、大型車のすれ違いが困難な状況にあり、冬期交通の安全性も確保されていない。また通学路でありながら十分な歩道も設置されていないため、交通安全上大きな問題を有している。</p> <p>そのため、生活道路として円滑で安全な交通を確保するため道路整備を行うものである。</p>					
事業目的	大型車のすれ違い困難箇所の解消(地域作りの支援)		車道幅員5.0m			
	通学路における歩道未整備箇所の解消(安全な生活環境の確保)		歩道なし			
	冬期未改良区間の解消(道路の防災対策・危機管理の充実)		路肩0.5m			
事業費内訳	(単位:千円)					
		全体	H15年度迄	H16年度	H17年度	H18年度以降
事業内容	事業費	1,250,000	240,000	250,000	270,000	490,000
	経費内訳					
	工事費	734,700	0	59,600	202,000	460,400
	用補費	380,126	173,376	172,150	33,600	2,000
	その他	135,174	66,624	18,250	34,400	27,600
財源内訳	国庫補助	684,500	129,000	137,500	148,500	269,500
	県債	534,000	104,000	106,000	115,000	209,000
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	31,500	7,000	6,500	6,500	11,500
事業内容			用地補償	橋梁工 用地補償	橋梁工 用地補償	改良工 橋梁工 舗装工 用地補償
事業推進上の課題	特になし					
上位計画での位置付け	総合計画における施策「地域内交通ネットワーク・生活圏交通の整備」を支援する事業					
関連プロジェクト等	なし					
事業を取り巻く情勢の変化	近年交通量が増加しており、道路利用者にとって危険な状態にあるため、早急に整備する必要がある。					
事業効果把握の手法及び効果	指標名	通学路の歩道設置率		データ等の出典	道路現況調書	
	指標の種類	成果指標 (業績指標)				
	指標式	設置率(設置済延長/通学路延長)				
	目標値 a	64.0%(長内工区含む)				
	実績値 b	48.0%(現設置率)				
達成率 b/a	75.0%		把握の時期	平成16年 7月		

前回評価結果等	選定または継続	改善	見直し	保留または中止
	指摘事項			
	指摘事項への対応			

## 2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容（特記事項）	評価点	
必 要 性	通学路及びバス路線として指定された路線であり、他に競合する路線は存在しない。 また代替手段もなく、事業は妥当である。 道路構造が最急縦断勾配8.8%、最小曲線半径30mとなっており、安全な交通確保のため早急に整備する必要がある。	13 点	
緊 急 性	通学路であるにもかかわらず、幅員狭小で歩道もなく、通学児童が常に危険にさらされているなど、生活道路として機能を果たしていないため、当該区間を緊急に整備する必要がある。	8 点	
有 効 性	安全な生活環境の確保 地域づくりの支援 道路の防災対策・危機管理の充実	歩道無し 2.5m 車道5m 6.0m 路肩0.5m 1.25m	23 点
効 率 性	事業の費用便益比は2.14であり、効率性は高い。 ・総費用の現在価値 9.6億円 ・総便益の現在価値 20.6億円	19 点	
熟 度	用地買収が98%ほど完結しており、事業推進の塾度は高い。	15 点	
判 定	ランク ( ○ ) 「効率性」が特に高い点数となっており、安全な生活環境の確保のため引き続き実施すべきである。	78 点	
総合評価	継続 改善して継続 見直し 中止 事業継続は妥当である。		

## 3. 評価結果の当該事業への反映状況等（対応方針）

当該事業の施工にあたっては、整備計画を踏まえ、着実に推進するとともに引き続きコスト縮減に留意する。

## 4. 公共事業評価専門委員会意見

県の評価及び対応方針を可とする。

別表7 (21)

## 公共事業箇所評価基準

評価種別 新規箇所 (継続箇所)

事業コード (H16-建-継-13) 箇所名 (鹿角市 長内)

適用事業名 道路改築事業(地域内・生活圏交通促進)

## 1. 評価内訳

観点	評価項目	細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	道路の現状の問題					
	道路構造上の欠陥箇所数 ・車道幅員 < 5.5m ・最小半径 < 100m ・最急勾配 > 5% ・冬期堆雪巾なし	3箇所以上	(8)	8		
		2箇所	6			
		1箇所	4			
		0箇所以上	0			
		計	15			
	道路環境上の欠陥該当項目 ・現道の混雑度 1.0 ・現道の旅行速度 30km/h ・現道の事故率 50件 ・通学路指定で歩道なし ・重大交通事故が発生	5件該当	7	5		
		4件該当	6			
		3件該当	(5)			
		2件該当	4			
1件該当		2				
該当項目なし		0				
計		15				
緊急性	道路をとりまく環境等					
	関連事業の有無 ・県の主要プロジェクト ・地域振興プロジェクト ・ほ場整備等の他事業	あり	4	0		
		なし	(0)			
		計	4			
	市町村合併支援道路	位置づけあり	3	0		
		位置づけなし	(0)			
	交通量	増加している	(3)	3		
		増加していない	0			
	特有の課題の有無 老朽橋、災害危険箇所、 冬期通行不能区間等	あり	(5)	5		
		なし	0			
計		15				
有効性	道路の位置づけ					
	生活圏30分形成道路等	該当する	7	0		
		該当しない	(0)			
	救急医療施設へのアクセス道路	該当する	(7)	7		
		該当しない	0			
	地域防災計画画重要な道路	該当する	(7)	7		
		該当しない	0			
	社会変化による事業の必要性	必要性が高い	(9)	9		
		低下傾向	6			
		必要性が低い	3			
計	30	23				
効率性	事業の投資効果等					
	費用便益比(B/C)	1.0以上	(5)	5	B/C=2.14	
		0.5以上~1.0未満	3			
		0.5未満	0			
	計画交通量	1,000台/日以上	(5)	5		
		500台/日以上~1,000台日/未満	4			
		300台/日以上~500台日/未満	3			
		300台/日未満	0			
	コスト縮減	あり	(5)	5		
		なし	0			
事業中止による影響	既投資額の損失大	5	4		etc 大規模バイパス etc 部分的ミニバイパス etc 現道拡幅	
	既投資額の部分的損失	(4)				
	既投資額の損失が少ない	3				
計	20	19				
塾度	事業の進捗進捗状況					
	事業の進捗(事業費)	8割以上完了	10	5		
		5割以上完了	8			
		1割以上完了	(5)			
		1割未満	2			
	用地買収の進捗(面積)	8割以上完了	(10)	10		
		5割以上完了	8			
		1割以上完了	5			
		1割未満	2			
		未着手	0			
計	20	15				
合計				100	78	

## 2. 判定

ランク	判定内容	配点	合計点	摘要
	優先度がかなり高い	80点以上	78	
	優先度が高い	60点以上~80点未満		
	優先度が低い	60点未満		